

# かごしま茶通信

公益社団法人 鹿児島県茶業会議所

鹿児島市南栄3丁目12

TEL(099)267-6063

FAX(099)267-6957

<http://www.ocha-kagoshima.jp>

発行責任者

会頭 柚木弘文



## 令和4年度 県茶品評会、 茶経営改善コンクール 審査会開催！



令和4年度の県茶品評会及び茶経営改善コンクールの審査会が、9月7日、8日の両日に県茶流通センターで行われ、9月9日開催の擬賞会議において成績が決定しました。今年の品評会には、普通煎茶の部門に14市町から100点、深蒸し煎茶の部門に7市町から100点の出品があり、茶経営改善コンクールには、9市町から30点の出品がありました。県農業開発総合センター茶業部の内村浩二部長を審査長に14名の審査員が審査しました。

品評会の成績結果は、普通煎茶は一等1席の農林水産大臣賞に南九州市の(有)折尾広志製茶、産地賞に南九州市の受賞が決定し、深蒸し煎茶は一等1席の農林水産大臣賞に鹿屋市の田原美和子氏、産地賞に鹿屋市の受賞が決定しました。

茶業経営改善コンクールの成績結果は、最優秀賞の農林水産大臣賞に薩摩川内市の山崎大作氏、産地賞に薩摩川内市の受賞が決定しました。

【審査概要】

本年の一番茶は、2月～3月上旬までの平均気温が平年に比べ低めに推移した影響を受け、摘採時期は昨年よりも5日程度遅れたものの、4月以降、強い冷え込みなど気象の影響を受けず、恵まれた気象条件の中での順調な生産となりました。

このような中、出品された茶の多くは適期に摘採され、また丁寧に製茶された良質なものが多く、本県茶生産者の熱意と技術レベルの高さが窺えました。

(1)茶品評会

ア.普通煎茶の部

上位から中位まではレベルが高く、特に上位

は、細よれで揃いが良く、光沢が有り、若芽のすがすがしい香りとうまみを強く感じさせる秀品揃いで、本県の技術レベルの高さが窺えました。

イ.深蒸し煎茶の部

上位から中位は、黄色みを帯びた鮮緑色でつやがある外観で、水色は青みと濃度感があり、濃厚なうま味を備えたものでした。

(2)茶経営改善コンクール

上位の出品者は、本県の特徴である機械化体系を導入し省力化を進めつつ、安心・安全な茶づくり等に努め、安定した経営を行っており、製品の品質や市場評価についても高い評価を受けました。

審査結果

茶品評会（普通煎茶）特別賞

Table with 3 columns: 特別賞, 受賞者, 市町名. Lists award winners for ordinary green tea.

産地賞 南九州市

茶品評会（深蒸し煎茶）特別賞

Table with 3 columns: 特別賞, 受賞者, 市町名. Lists award winners for deep-steamed green tea.

産地賞 鹿屋市

茶経営改善コンクール 特別賞

Table with 3 columns: 特別賞, 受賞者, 市町名. Lists award winners for tea business improvement competition.

産地賞 薩摩川内市

# 第76回(令和4年度) 全国茶品評会結果概要

「第76回全国茶品評会」が、令和4年8月23日～26日の4日間にわたり、京都府宇治市の宇治茶会館で開催されました。

本年度は、17都府県の茶産地から7茶種8部門に865点が出品され、全国から集まった20名の審査員により慎重に審査されました。

本県からも5茶種6部門に122点が出品され、普通煎茶10kgの部において、南九州市が産地賞第1位を受賞し、霧島市が第3位に入りました。この部で本県は19年連続で第1位を受賞、特別賞では、南九州市の知覧銘茶研究会 株式会社朽川製茶が、

農林水産大臣賞を受賞しました。

この部門は、摘採条件が機械摘みに限定されており、審査概評では、外観、内質ともに優れた品質で、作業精度の高さを感じたとの報告がありました。

また、玉露の部で曾於市が昨年に引き続き産地賞第3位を受賞し、新品種「せいめい」を含む4点が入賞したほか、普通煎茶4kgの部、かぶせ茶の部においても多数入賞し、多様な茶種が高いレベルで生産されていることを示すことができました。

褒賞授与式は、11月19日に京都府の宇治市文化センターで開催される予定です。

## 特別賞 普通煎茶10kgの部

特別賞	受賞者	市町名
農林水産大臣賞	知覧銘茶研究会 (株)朽川製茶	南九州市
農林水産省農産局長賞	知覧銘茶研究会 (有)宮原光製茶 宮原 健	南九州市
公益社団法人日本茶業中央会会長賞	知覧銘茶研究会 (有)下窪勲製茶 下窪 健一郎	南九州市
全国茶生産団体連合会会長賞	知覧銘茶研究会 (有)下窪勲製茶 下窪 和幸	南九州市

## 産地賞

普通煎茶10kgの部	1位：南九州市	3位：霧島市
玉露の部	3位：曾於市	

## 審査会風景



〔研究最前線〕

# 生葉低温保管システムを利用した てん茶の高品質化とランニングコスト

農業開発総合センター 茶業部

## 1. はじめに

摘採後の茶葉を長時間常温保管すると、呼吸による葉温の上昇と酵素反応により茶品質が低下します。そこで、茶品質の低下を防ぎ、従来よりも長



図1 低温保管装置内部

時間保管可能な生葉低温保管システムを現地茶工場に設置し、その効果を検証しました。また、摘採期間の延長が期待できるてん茶において、低温保管による高品質化と、茶工場稼働期間の拡大を目指し、低温保管に要するランニングコストを明らかにしましたので紹介します。

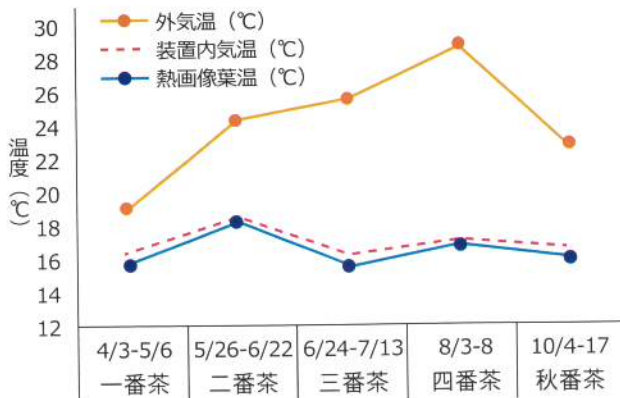
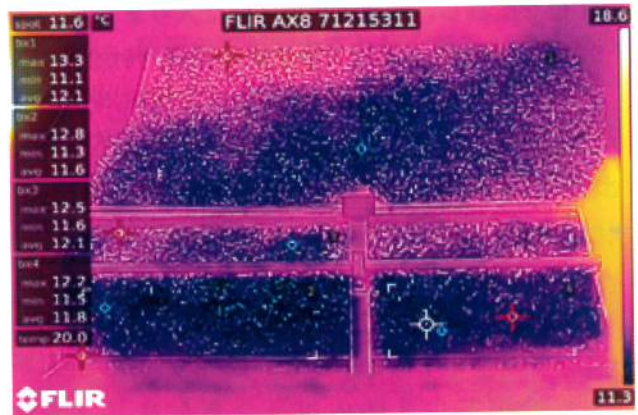


図2 茶期別装置内外気温と熱画像生葉温度

注) 装置設定温度16~17℃、外気温は茶工場内で測定

## 2. 生葉低温保管システムの概要

生葉低温保管システムでは、生葉室全体を断熱材で覆い冷風循環方式とした保管装置内で、熱画像装置により茶層表面の温度分布をモニタリング



熱画像カメラによるモニタリング画面

しながら温度管理及び風量制御します(図1)。

茶層表面温度は茶層の内部とほぼ同様に推移し、生葉室内の気温は各茶期を通して設定温度の17℃前後、熱画像による葉温は16℃前後で管理できます(図2)。

## 3. てん茶の高品質化

低温で長時間(20~46時間)保管したてん茶は、短時間(~10時間)保管に比べうま味、覆い香があり官能評点が優れ、色相角度が大きく、色沢が鮮緑となりました(表1)。また、てん茶特有の覆い香成分であるジメチルスルフィド(DMS)含有量は常温や短時間保管に比べ増加しました(図3)。

表1 低温保管時間と  
てん茶官能審査評点および測色値

試験区 (保管時間)	官能審査		色相角度 (h*)
	評点	概評	
短時間 (0-10)	93.1		119.8
長時間 (20-46)	99.1	うま味、覆い香	120.9

注) 官能審査評点は審査項目(外観、水色、香気、から色、滋味)で最も優れているものを20点とする減点法

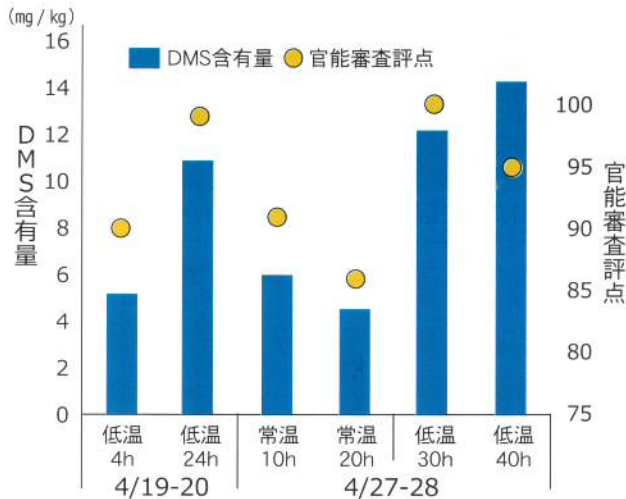


図3 異なる生葉保管条件とDMS含有量、官能審査評点の関係

注) 常温21.1℃, 低温15.8℃  
4/19-20: あさのか, 4/27-28: かなやみどり

4. 低温保管に要するランニングコスト

低温保管に要する1日あたりの消費電力量は、160~580kwhで外気温と設定温度の差に影響されました。生葉コンテナの保管容量公称値の約70%である10,000kgを保管した場合の電気使用料金は、0.3~1.0(円/生葉1kg)でした(図4)。

5. 経営試算

経営面積30haの茶工場が生葉受入面積が10%増加した場合、本システムを導入し、てん茶などの茶種を増産することで葉傷みによる収益低下を避けながら稼働日数を13%延長、生葉処理量を12%増加することが可能と試算されました。また実証試験では、高品質な製品の生産を維持しつつ面積をさらに拡大し、20~50%の生葉受け入れ量を増加させることが可能でした。

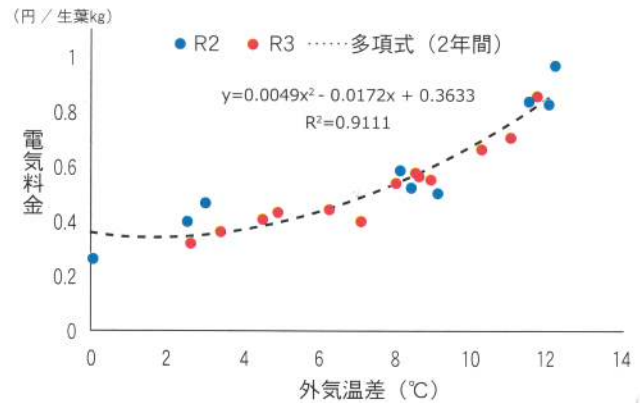


図4 外気温差と電気使用料金の関係  
注) 生葉1kgあたり外気温差=外気温-設定温度

6. 普及のための留意点等

- (1) 生葉低温保管システムの性能及び消費電力調査は南九州市茶工場にあるカワサキ機工(株)製(生葉コンテナ7200k型2台、熱画像装置小型サーモグラフィ8台)を用い、生葉室内の設定温度は16~17℃としました。
- (2) てん茶の品質評価は、上記及び志布志市にある同システム(株)寺田製作所社製、8000k型4台)で保管した生葉を各てん茶製造ラインで製造した令和元~3年一、二、秋番茶を用いました。
- (3) 生葉は、コンテナ投入後葉温が室温付近まで下がった後、送風量を20~50%減じて保管します。

7. おわりに

生葉低温保管システムは、他にも煎茶における夏茶臭低減、萎凋香緑茶や、発酵茶における花香の安定的な強化などの効果があります。同システムを活用して製造した茶は、国内外の多くのコンテストで入賞するなど品質の高さが明らかになっています。今後多様な茶種を高品質生産する上で強力な武器になると期待されます。  
※本研究は農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究(茶葉の低温保管システムの開発と作期拡大を可能とする新品種の育成)により実施しました。

(加工研究室長 崎原敏博)

# 令和5年度 学生募集

## 鹿児島県立農業大学校

鹿児島県立農業大学校では、令和5年度に入学する学生を募集しています。

茶業科では、茶業関係の各分野の専門家による講義や実践的な技術習得を目的とした茶園管理や製茶の実習を行っています。茶に関する知識や技術が身につく、多方面から求人があります。

茶業の後継者、非農家、関係なく、学ぶ意欲とやる気があれば大丈夫です。是非ご検討ください。

お茶は和食とともに、多くの人に愛されています。そして、お茶には免疫を高める成分、カテキン、テアニンなどが含まれており、新型コロナウイルスへの感染予防が期待されています。

お茶を学び、茶業、そして農業全体にあなたの知恵を活かしてみませんか。

最後に、将来の農業を担うために県内外から集った学生と、学習活動、寮生活を通じて交流や仲間づくりができることも大きな魅力です。詳しいことをお知りになりたい方は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。



写真1 自分たちで製造したお茶を味わう新入生

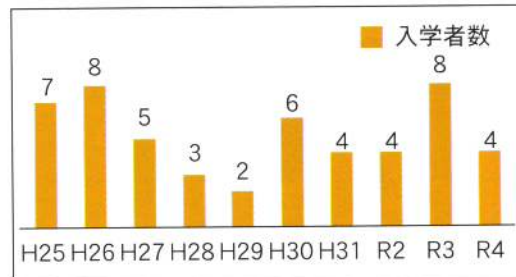


図1 茶業科入学人数の推移

### <学生募集要項(抜粋)>

1 定員 農学部(野菜科35名、花き科10名、**茶業科15名**、果樹科10名)  
畜産学部(肉用牛科25名、酪農科10名、養豚科10名)

### 2 受験資格

- ① 高等学校を卒業した者、若しくは令和5年3月に卒業見込みの者、又はこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者。
- ② 卒業後、農業関係に従事する見込みがあり、農場実習・寮生活に適応する者。

### 3 一般入学試験日程

	受付期間	試験日	合格発表
A日程	令和4年10月17日(月)~11月7日(月)【当日消印有効】	11月22日(火)	12月6日(火)
B日程	令和5年1月4日(水)~1月23日(月)【必着】	1月31日(火)	2月7日(火)
C日程	令和5年2月7日(火)~2月22日(水)【必着】	3月2日(木)	3月9日(木)



### 問い合わせ先

鹿児島県立農業大学校 教務指導課  
〒899-3311 日置市吹上町和田1800  
TEL:099(245)1071

### 公式Instagram

<https://www.instagram.com/kagonodai/>

\*農業大学校のHPでも確認できます。

鹿児島農大 検索

スマートフォンからも  
ご覧になれます。



# 流通情勢

## 令和4年産 茶取扱概況

J A 鹿児島県経済連 茶事業部

### 1. 二番茶(5月17日～7月20日)

#### (1) 生産・入荷

生産は、開始当初の早場産地においては、5月半ばまでの平均気温が平年を上回る日が多く、一番茶後45日前後での生産開始となったが、生産が本格化した5月下旬頃からは降雨や曇天、朝晩の気温が低めに推移したことから芽伸びや色のを待っての生産が行われ、生産中盤の中生品種以降においても、摘採時期の前進化は見られなかった。

取引は、早場産地が盛期入りした5月30日に日量100トンを超える上場量となったが、中間・遅場産地での生産が始まり取引の最盛期となった6月上旬以降も、降雨の影響や芽伸びが進まなかったこと等から、日量200トンを超える日は見られなかった。

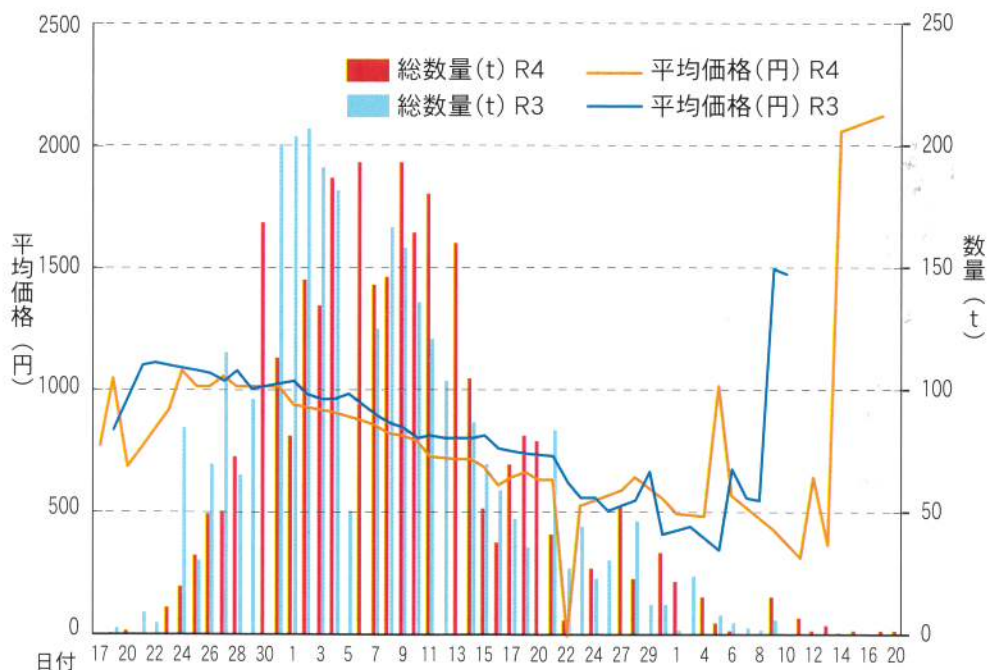
取扱数量は、一番茶に配合できる製品への引き合いから、一番茶に引き続き、品質本位の生

産がなされたことや、生育期の低温、日照不足等の影響から、昨年同様に全県的に減産傾向となり、2,975トン（前年実績：2,956トン、前年比101%）となった。

#### (2) 品質・市況

品質については、生産開始当初は一番茶同様の集中した生産を想定し、早めの被せと前倒し生産がなされ、芽合いに優れ、一番茶に配合できる品質良好な製品が多く生産された。また、冷涼な気候となったことで、芽伸びや色のを待っての生産となり、茶期を通じて急激な品落ちは見られなかったものの、茶期中盤は被覆製品において色のに乏しい製品も見られた。

市況については、在庫の少なかった昨年の二番茶期と比べると、1,500円以上で取引される製品は少なかったものの、被せと蒸しの効いた良質なリーフ原料への安定した引き合いが見ら



鹿児島県茶市場 令和4年度 日別推移グラフ(二番茶)

れ、一番茶に配合できる製品は、品種を問わず1,000円以上での取引が続いた。

また、被覆製品で蒸しの効いた色沢、水色の良い一番茶に配合できる製品が1,200円以上で取引され、盛期過ぎにおいても、900円前後で安定した取引となった。形状ものについては、被せの効いた芽合いや色沢、水色の良いものは1,000円以上で取引されたが、一部の良品に限定された。全体に不揃い傾向で、硬化した下葉の混入した製品も目立ち、被覆形状ものは700～800円台が取引の中心となった。

ドリンク原料については、生産開始当初より600円前後が取引の中心となるなど、過少在庫で迎えた昨取引に比べ200～300円安の低調な相場展開となった。

本茶平均価格は、一番茶に配合できる製品に引き合いがみられたものの、露地ものを中心に厳しい取引となったことから、832円(前年実績：899円、前年比93%)となった。

## 2. 三番茶(6月27日～8月30日)

### (1) 生産・入荷

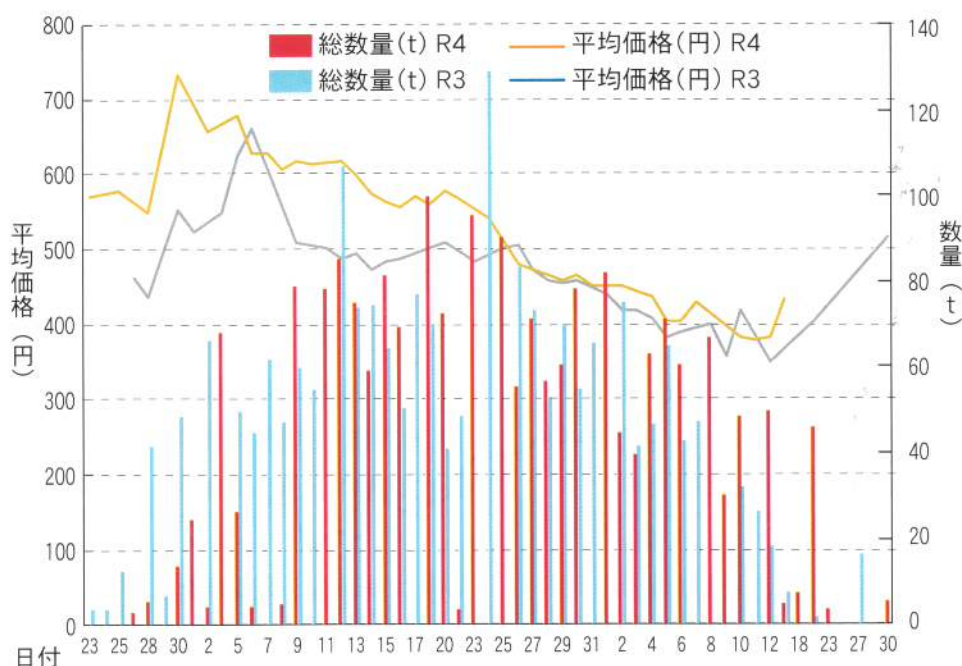
生産は、燃油高騰による製造コストの上昇

や、二番茶終盤時期に、三番茶の価格安が想定されたこと等から、二番茶後の中切り、深刈り等の更新園が例年より増加し、三番茶の生産量は減産となった。また、全国的な二番茶の減産から飲料メーカーによる三番茶の手当てが進んだものの、昨年同様、市場外での相対取引の動きは強く、県茶市場の入荷量もピーク時で80トン前後と膨らまず、県茶市場の取扱数量は、1,992トン(前年実績：2,061トン、前年比97%)となった。

### (2) 品質・市況

品質は、四番茶摘採可能な茶園を中心に芽合い・色りの良い製品が見られたものの、一部の工場に限られ、芽合いの良い製品は少なく、大形で外観の色沢の浅いものなどの製品割合が多く見られた。また、最終摘採の兼ね合いから7月中旬以降は硬葉化した製品が多く、品落ちによる下げがみられた。

市況は、開始当初から弱含みの相場展開となり、500円台が取引の中心となった。ドリンク飲料用としての引き合いも弱く、二番茶後の中切り更新園も例年より多かったことから、品薄感もあり、終盤は昨年同様の取引となったものの、終始



鹿児島県茶市場 令和4年度 日別推移グラフ(三番茶)



軟調相場での展開となり、本茶平均価格は479円  
(前年実績：550円、前年比87%)となった。

となった。

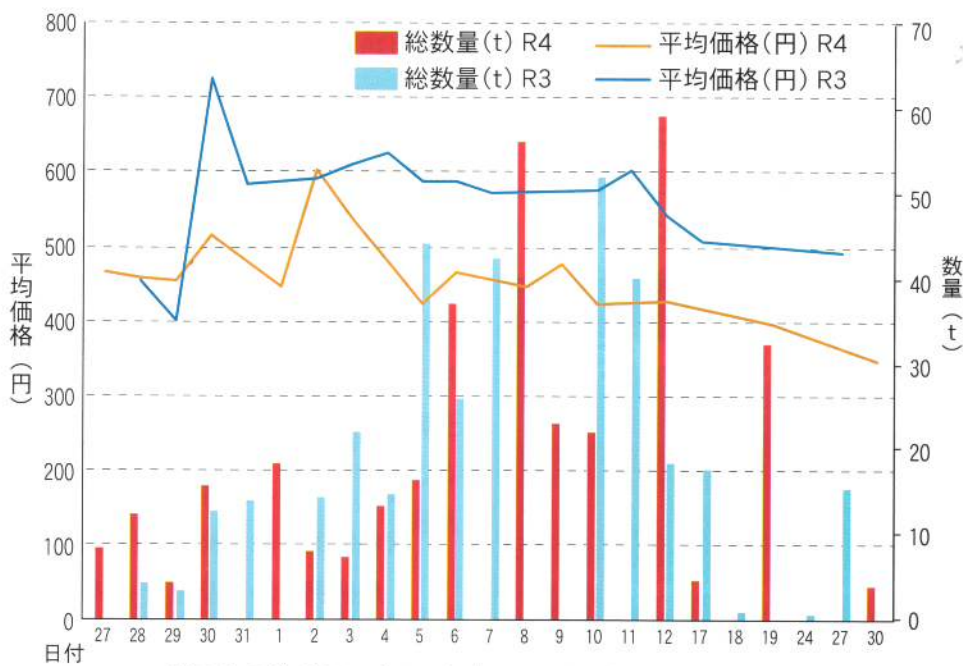
(2) 品質・市況

品質は、一部で芽合いの良い製品がみられたものの、総体的には大形の製品や色沢の色の浅い製品が多くみられた。また、三番茶同様ドリンク飲料用の引き合いはあるものの、昨年ほどは強くなく、価格の中心は450円前後で推移し、本茶平均価格は、446円(前年実績：536円、前年比83%)となった。

3. 四番茶(7月27日～8月30日)

(1) 生産・入荷

生産は、二番茶以降の相場の影響を受け、更新園の割合が例年より増加したこと、中切り芽の生産が多くみられ、取扱数量は昨年同様の342トン(前年実績：345トン、前年比99%)



鹿児島県茶市場 令和4年度 日別推移グラフ(四番茶)

◎ 一番茶～四番茶 茶期別取扱実績

(単位:t、円、%)

茶期	区分	令和4年度				令和3年度				前年対比			
		本茶	番茶	出物	合計	本茶	番茶	出物	合計	本茶	番茶	出物	合計
一番茶	数量	3,141	927	441	4,509	3,121	1,015	385	4,521	101	91	115	100
	平均@	2,004	609	832	1,602	1,916	612	841	1,532	105	100	99	105
二番茶	数量	2,530	87	358	2,975	2,504	95	358	2,956	101	92	100	101
	平均@	832	408	458	775	899	399	510	836	93	102	90	93
三番茶	数量	1,629	256	108	1,992	1,630	307	124	2,061	100	83	87	97
	平均@	479	376	281	455	550	352	302	506	87	107	93	90
四番茶	数量	318	15	10	342	279	57	9	345	114	26	111	99
	平均@	446	352	294	437	536	349	318	499	83	101	92	88
合計	数量	7,617	1,285	917	9,818	7,534	1,475	875	9,884	101	87	105	99
	平均@	1,224	546	615	1,078	1,232	534	624	1,074	99	102	99	100

※ラウンドにより合計が一致しない場合がある。

県茶生産協便り

# 令和4年度 主な事業の取り組み概況と 今後の計画について

(一社) 鹿児島県茶生産協会

## 1. クリーンなかごしま茶づくり生産推進事業

○ 各地区のクリーンな茶工場実態調査実施計画書に基づき、推進活動費を交付しました。各地区で計画の調査にご協力をお願いします。

また、県下一斉に「お知らせ旗」の設置を徹底する農薬飛散防止対策の徹底をお願いします。



## 2. 銘柄産地育成対策事業

○ 県指導班・地区振興会の茶品評会活動に対し、助成金を交付しました。

全国茶品評会普通煎茶（10kg）で南九州市が産地賞1位、霧島市が産地賞3位、玉露では曾於市が産地賞3位を受賞しました。

普通煎茶（10kg）で榎川製茶（南九州市）が農林水産大臣賞を獲得するなど、特別賞を多数受賞しました。

来年度に向け、出品点数確保と計画的な研修会の開催等をお願いします。

○ 各地区等からの要請により技術アドバイザーを

派遣し、出品茶の生産指導や産地活性化に向けた助言を頂いています。

< 令和4年8月末時点北薩・熊毛・南薩地区などに8回派遣 >

## 3. 県茶業経営改善対策推進事業

○ 地区別検討会が8月31日、北薩地区振興局で地区振興会の代議員やJA・市町・県の茶業関係者及び、県茶業指導研究会員が参集して開催されました。

佐藤技術アドバイザーから、「茶を取り巻く環境と今後の産地育成について」の講話の後に、情報提供・総合検討が行われました。

農研機構から品種育成情報や新品種「せいめい」のサンプル展示、農総セ茶業部から新技術の紹介などがあり、また、インボイス制度、荷口まとめ奨励金、国県補助事業等について総合検討されました。

鹿児島・日置地区は本年は中止。他の地区は11月に開催予定です。

## 4. 生産技術課題解決研究事業

○ 「かごしま茶の機能性分析・評価に資するトライアル活動」について鹿児島大学と県農業開発総合センター茶業部に研究をお願いします。

令和5年2月の総会において研究経過等を報告します。

○ 研究会活動支援に鹿児島・日置、南薩、始良・伊佐、曾於、熊毛の5地区から8研究会の活動助成申請があり、助成金を交付しました。

## 5. 茶業経営向上活動支援事業

### (1) 県内外に向けたイベント等による消費拡大対策

#### ア 全国和牛能力共進会 鹿児島大会でのお茶振る舞い

10月6日～10日の大会期間中、霧島市牧園町(霧島高原国民休養地周辺)の大会会場(協賛企業団体エリア)で、本県主要品種と新品種「せいめい」のサンプル・パネル展示や溝辺町茶業青壮年部、県短お茶育研究会、全国地紅茶サミット実行委員会が、かごしま茶の振る舞い等によるPRや販売を行います。

#### イ 日本茶インストラクター等 かごしま茶プロモーション

「かごしま茶」への理解を深め、「かごしま茶のファン」拡大を図るとともに今後のインストラクター活動で「かごしま茶」のPRの参考となる産地ツアーを実施します。



かごしま茶産地ツアー

本年は、令和元年以来の開催となります。

関東地区の日本茶インストラクター・かごしま茶販売協力店員が参加します。

時期：10月14日(金)～16日(日)

参加者：関東地区15名

内容：流通・製茶、カワサキ機工、薩摩川内市の茶生産状況、南薩視察等。

#### ウ かごしまお茶マルシェの開催

若年層へのかごしま茶のPRを目的に本年も開催します。

当協会会員のお茶とかごしま茶を使ったスイーツなどを販売します。

時期：11月25日(金)～26日(土)

場所：中央駅アミュ広場



### (2) メディアを活用した認知度向上対策

#### InstagramによるPR

若年層の利用率が高いInstagramで「かごしま茶」をPRしています。

本県茶業のイベントや茶産地の様子、お茶を使ったスイーツ・会員の小売り茶の紹介、お茶クイズなど33回情報を掲載しました。

フォロワー数1,140名(8月末時点)

「かごしま茶ナビ」で検索するとご覧いただけます。

### (3) 学校等との連携による魅力創出・PR対策

#### ア 県立短大、高校等による

##### 「かごしま茶」PRと魅力の創出支援

- 県立短大は全国和牛能力共進会・全国地紅茶サミット・お茶マルシェへの出店などを通じて「かごしま茶」の消費拡大・PR活動が実施されます。

- 山川高校・薩南工業高校・指宿商業高校・国分中央高校・種子島中央高校・神村学園高等部の6校に助成金を交付しました。

各地域で観光客へのおもてなしやイベントでのPR、お茶を使った商品開発などが実施されます。

#### イ 学校への緑茶提供支援

小学校での緑茶の飲用を通じて、児童、生徒に対する愛飲習慣や日本伝統文化の理解と継承に役立てるため、小学校等に緑茶を無料提供している団体を支援しています。

本年度は会員が組織する団体(7地区11団体)に助成金を交付しました。

県茶商協便り

# 故「新原仁次郎」氏の 胸像作品展について

鹿児島県茶商業協同組合



鹿児島県茶業界の発展に大きく貢献された、故「新原仁次郎」氏の胸像が当組合入口前に建立されています。

同氏は昭和33年当組合理事長に就任され、通算27年間の長きに亘り県内茶業界の発展に心血を注がれ、全国有数の茶産地の礎を築いてこられました。

昭和63年の理事長退任にあたり、同氏の多大な功績を称え、当時の茶商協理事11名が発起人となって胸像が建立されました。

この度、指宿市教育委員会より昭和63年当時胸像を製作された指宿市在住の「木佐貫熙(ひろし)」氏の作品展を開催するに当り、故「新原仁次郎」氏の胸像の写真を展示したいとのことで撮影に来所されました。

開催期間中 (R4.10.1~R5.3.12・指宿市時遊館 COCCOはしむれ)、故「新原仁次郎」氏の胸像の写真も展示されますので、茶関係者も来館して欲しいとのことであります。詳細は下記を参照してください。



# アメリカお茶市場トレンド便り

在米コンサルタント

ロサンゼルスを拠点に活動しておりますナチュラル・プロダクツ業界専門のコンサルタント kentreeの溝呂木(みぞろぎ)です。現在ロサンゼルスを拠点に活動、情報発信をしています。

今回はお茶の健康面や環境面についての記事となります。

## 環境に配慮したお茶パッケージが 世界で増加中

Aaron Keil 2022年6月29日



リサーチ・コンサルティング会社のFuture Market Insights(FMI)によると、環境に優しいお茶のパッケージの世界的な利用は2021年時点で約62億米ドル、2032年には年平均成長率4.5%の増加により100億米ドルの評価額に達する見込みである。

FMIレポート「Eco-friendly Tea Packaging Market Outlook(2022-2032) (環境に優しい茶パッケージ市場の展望)」の内容は以下の通り。

世界中で生分解性パッケージングソリューションを好む傾向の高まり、また新興国における有機茶の消費の増加が同市場の売上を後押しすることになる見込み。

製品の鮮度や香りを長期間維持する環境に優し

い茶葉のパッケージングソリューションは、高い需要があり、より耐久性のあるさまざまな茶葉パッケージが発売されている。また、抗菌茶パッケージは、細菌汚染や感染症の防止に役立つ。

紙のパッケージングは他の素材と比較して低コストであることおよび環境持続可能性により、より速く発展する見込み。

紙の密度、光沢コーティング、不透明度が品質に影響するが、化学物質を含まず、塩素処理もしない、環境負荷の少ない紙パッケージにより紙業界は(この市場で)より速い速度で拡大すると言われている。

### FMIの新調査の主なポイント

- ・素材別では、茶業界に関する紙分野が2022年に市場全体の33%のシェアを占めると予想
- ・パッケージング形式では、お茶用の袋やサックの売上が評価期間中に年平均成長率3.9%で増加する見込み。
- ・米国の環境に優しいお茶のパッケージング市場は、2022年に9億米ドルの評価額に達する見込み。
- ・予測期間中、インドの環境に優しいお茶のパッケージング市場は年平均成長率6.1%で成長すると予測。

### 競合他社の状況

世界の環境に優しいお茶パッケージ市場の主要プレイヤーは、販売向上のためのプロモーション戦略に投資しており、市場での競争力を高めるため軽量で費用対効果の高い製品を発売しているとFMIは指摘。

同市場の主要プレイヤーは以下

Amcor Plc  
DS Smith PLC  
ProAmpac LLC  
WestRock Company

Mondi PLC  
 Crown Holdings, Inc.  
 Sonoco Products Company  
 Graham Packaging Company  
 Novolex Holdings, Inc.  
 Pacific Bag, Inc.  
 Goglio SpA  
 Co-Pack Inc.  
 Dongguan Min Lee Packaging Materials Co, Ltd.  
 Shenzhen Color Hoyo Paper & Plastic Products Co, Ltd.  
 Dongguan Jmei Packaging Company Limited  
 Shenzhen Packmate Packaging Co., Ltd.  
 PBFY Flexible Packaging  
 Sixto Packaging  
 Qingdao Dejili Packing Material Co. Ltd.  
 Color Hoyo Paper & Plastic Products Co., Ltd

Arcor Plcは、製造工程を改善し、二酸化炭素排出量を削減し、持続可能な環境に優しい茶葉パッケージの開発を試みる。また、WestRock社は、紙をベースとしたラインを拡張し、電子商取引におけるプラスチックパッケージを、再生可能な材料から作られたリサイクル可能なソリューションに置き換えることを計画している。

原題：Eco-friendly Tea Packaging Is on the Rise  
 Around the World, Per New Research (抜粋)

## 世界初の臨床試験で、 抹茶が睡眠と社会的認知機能を改善

Aaron Keil 2022年8月10日



抹茶の認知機能低下抑制効果を評価する世界初の臨床試験が、軽度認知障害、認知症前段階、認知機能低下を抱える高齢者99名を対象に実施された。

この研究結果は、8月2日にカリフォルニア州サンディエゴで開催された「国際アルツハイマー病協会 (Alzheimer's Association International Conference)」

で発表された。

本研究は、筑波大学発ベンチャー企業である株式会社MCBIと株式会社伊藤園が共同で実施したもので、研究協力者には、新井哲章教授、浅田隆博士らが名を連ねる。

今回の臨床試験では、抹茶の長期摂取による介入前後で、認知機能評価、血液中バイオマーカー、動態分析(血中茶成分濃度)、神経イメージング(fNIRS、アミロイドPETイメージング)、睡眠評価を行い、抹茶の効果およびバイオマーカーの変化を総合的に分析する。

睡眠の質の評価にはPittsburgh Sleep Quality Index (PSQI)を用い、抹茶摂取群ではPSQIスコアが低下し、睡眠の質が向上する傾向があることが明らかになった。

認知機能をCognitraxを用いて脳領域ごとに評価したところ、抹茶グループはプラセボグループと比較して、顔の表情認識テストにおいて社会的認知、具体的には顔の表情に基づく感情の認知の精度に有意な改善がみられた。

伊藤園とMCBIは、今回の取り組みを通じて、超高齢化社会における高齢者の充実した生活の実現に取り組み、健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現に貢献していくとしている。

原題：World's First-of-Its-Kind Clinical Trial Says Matcha  
 Improves Sleep, Social Cognitive Functions (抜粋)

## 茶ポリフェノール市場は 2028年までに5.5%以上の成長見込み

Vinisha Joshi 2022年9月7日



Global Market Insightsによると、お茶消費率の上昇とお茶の健康効果に関する意識の高まりによ

り、2022年から2028年の間でお茶のポリフェノール市場のシェアが増加する可能性が高い。

茶葉に含まれるポリフェノールは、高いエピガロカテキンガレート、抗酸化物質、繊維を含み、代謝を高めて体重減少に役立つため、お茶の市場拡大および、緑茶の栽培と消費の拡大につながっている。

### 緑茶の効能がより多くの消費者を惹きつける

様々な研究により、緑茶を大量に摂取することは、体重減少、肌の健康や質への影響、心血管系疾患のリスク軽減に役立つことが示唆されている。例えば、肥満等を抱える35人の被験者を対象に、緑茶抽出物および緑茶の摂取により、8週間後の体重および肥満度が対照群に比べ減少することが判明。また、これらの結果は、緑茶ポリフェノールまたは緑茶カテキンが、肥満患者の代謝当量を改善することを示した。

緑茶は世界で年間60万トン近く消費されており、そのうち50%は中国亜大陸、また、日本だけでも年間8万トン近くが消費されている。

緑茶市場の競争が激しいため、緑茶メーカーは医療効果やハーブの特性を生かした新製品を発売することに全力を注いでいる。例えば、インドの大手自然医療・アーユルヴェーダ企業であるDabur India Limitedは、Dabur Vedic Green Detox Kahwaを発表。このグルテンフリーの製品は、減量、デトックス、代謝の促進、消化の改善をサポートする。この新しい製品は、消費者に飲料分野で健康志向の選択肢を与える役割も果たす。緑茶ポリフェノールの市場規模は、2028年まで5.5%以上の年平均成長率を記録すると予測される。

また近年、美容トレンドの変化に伴い、紅茶の利用が拡大。紅茶ポリフェノールは、ミネラル、ビタミン、エッセンシャルオイルを豊富に含み、紅茶スキンケア製品に含まれる抗酸化作用に寄与。肌の不快感を和らげるだけでなく、紅茶ポリフェノールは、有害な紫外線による色素沈着の軽減、早期老化の防止、シミの除去などの効果があるとされる。

### アジアにおける新たな政策と茶園技術

現在、世界の紅茶消費量の約40%(240万トン)を占める中国では、全土の茶園において持続可能で技術的な実践が進んでいる。雲南省では、小規模農家がアグロエコロジーを茶栽培に応用することで、管理コストの削減、生物多様性の増加、より美味しいお茶の生産を実現している。

さらに、ユニリーバは2017年、貴州省遵義市政府と持続可能な茶園プロジェクトにおける協力に関する意向書を締結。このプロジェクトでは、地元の茶産業を支援し、国内外のより幅広い顧客層にリーチすることを目的としており、2020年末までに最大6,667ヘクタールの持続可能な茶園の開発を目標としている。

一方、インドでは茶の輸出対策や政策が導入された。例えば、インドの紅茶産業は、「紅茶振興開発法(The Promotion and Development Act of 2022)」の予算で、紅茶委員会が紅茶産業の振興、研究、開発を最適化するための推進役として機能するよう、新たな目標を導入する。

IBEF(インド・ブランド・エクイティ財団)によると、2021年から2022年の間にインドの紅茶の総輸出量は約2億100万kgとなった。インドから輸出される茶葉の大半が紅茶であり、輸出全体の約96%を占めている。

茶葉栽培技術の発展と政府の支援的な規制に後押しされ、茶ポリフェノール市場のシェアは2028年末までに4億米ドルを超えると予想される。

### ヨーロッパ - 新興市場

ヨーロッパは高い肥満率、心血管疾患の蔓延、大規模な高齢者患者を背景に、2028年に9500万米ドルの市場評価を占めると予測される。

原題：The Tea Polyphenols Market Is

Set to Grow by 5.5+ Percent Through 2028(抜粋)

詳しくはブログにて

<http://kagoshimacha.blogspot.com>

# 事務局便り

## 最近の動き (6月～)

### 鹿児島県茶業会議所

#### 理事会 (8月2日 オロシティーホール)

令和4年度第2回目の理事会が開催され、茶業功労者表彰委員会が候補者として選定した11名の方々が茶業功労者として決定しました。また、業務の執行状況や茶業情勢等の報告がなされました。



#### ホテルでの「かごしま茶」PR実施 (8月)

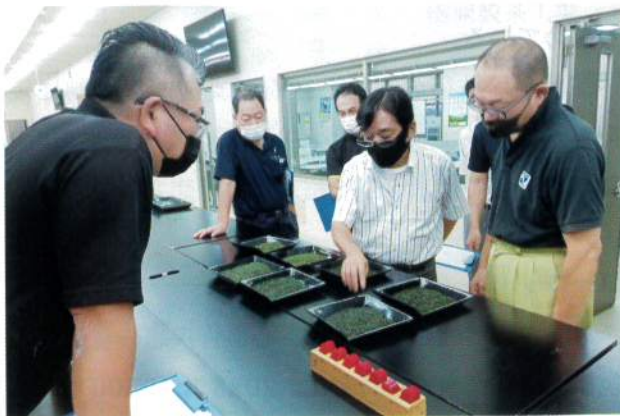
鹿児島市内の3ホテル(アートホテル鹿児島、鹿児島サンロイヤルホテル、城山ホテル鹿児島)に御協力頂き、観光客等を対象にかごしま茶一煎パックを配布しました。



#### かごしま標章茶審査会

(9月14日 かがしま茶流通センター)

5団体・個人から9件の申請があり、8名のかごしま標章茶審査委員の厳正な審査の結果、8件が合格しました。



#### 日本茶業中央会理事会

(10月3日 Web会議)

オンラインシステムを使ったWeb会議方式で実施され、日本茶業中央会が輸出促進法に基づく品目団体として認定申請を行う方針が承認された。

